日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電） 千葉 2935・2939番
（公） 043（222）7207番

98.1.29 No. 4728

1/25～26 全活報告 第1！ 恐慌・大失業と戦争の時代の到来

一月二五―二六日、静岡県・熱海市において九八年動労千葉活動者研修会が開催されました。

本部からの基調提起と学習をとをし、戦後史を一変する大激動情勢の到来のなかで、労働者として労働組合としてどう闘うのかをガッチリとつかんで来た二日間でありました。

今号と次号の日刊において研修会でおこなわれた二つの講演、「戦時下労働運動から何を学ぶか―産業報国会体制への移行を中心に」「恐慌・大失業と戦争の時代の到来」についての簡単な報告をいたします。

―○―○―金融恐慌の危機を深める日本経済

今の日本経済を考える場合に、とてもつぶれないと思われていた大手金融機関の北海道拓殖銀行・山一証券があいつで破綻した、なぜか、これをつかむと日本経済の危機、日本・世界の経済が一変したことがわかるということです。

拓銀・山一の倒産のきっかけは不良債権と翌日の資金繰りのパンクです。そして金融機関の破綻は企業の連鎖倒産になりかねない。メインバンクが破綻すれば企業も資金繰りができないからです。

高度経済成長が終わり七〇年代半ばから長期不況となり、バブル経済とその崩壊、大規模な財政支出、だましだまし抑えてきたものがついにコントロール不可能のなって今噴出しているのです。

昨年一万六千の会社が倒産し、一三万八千人が職を失いました。一日平均三百七十人が失業しています（実質はもっと）。特に三月期決算にむかう過程が問題です。就業者の一割以上をしめる建設業、ゼネコン倒産となると失業者が激増します。本当に大失業の時代がもう来ているのです。

これが資本主義の本性

不況の原因は何なのでしょうか。日本の年間の自動車生産台数は千五百万台です。しかし輸出も含め売れるのは千万台です。市場には限りがあり、ものが増えすぎてワクにおさまりきれなくなっているのです。

資本主義社会は利潤を求めて労働者を搾取し、無限に資本を蓄積し、拡大し続ける以外に生きることのできない社会だからです。行き場のない過剰な資本、過剰な生産力があふれかえっている―資本主義の持つ根本的な矛盾が今爆発しているのです。

資本主義社会はもう労働者を食わせていくことができない。資本家が生きるためにすべての犠牲を労働者に押しつけようとしている。こんなにも生産力・社会が発達しているのに、不況だ首切だリストラだと、おかしいじゃないか。

ではどうするのか。資本主義の肯定か否定か二者択一しかありません。資本家の私有財産を廃止し共同所有にして生産のあり方を意識的・計画的にかえていくのです。そのために支配階級である資本家を打倒し、労働者が政治権力をとることです。

労働というのはもっとも大切な人間本来のあり方です。動物とちがい人間は手と足を動かし、自然に働きかけて社会をつくってきた。人間とは人間性とは何なのかという核心は労働にあるわけです。資本主義を打ち倒すことによって、労働の売り買い、搾取をなくす―労働者自己解放の思想　共産主義を復権させる時です。

労働者の立場とは

今アメリカがバブル経済です。それも史上最大です。株式投資信託の残高は四百兆円で、日本の全金融機関の貸出総額に匹敵しています。家計をまきこんだ投機は二九年恐慌以来で米国民の四分の三が株をもっています。

もしこれが暴落したら―米のハイテク企業はアジアとの取引が大きく昨年一〇月末はハイテク株の売りで株暴落がおきています。日本発か、米国発か、アジア発か。三つの震源からドル暴落―世界恐慌への現実性が高まっています。

こうした状況下で日米が死活をかけてアジアを奪い合っているのです。米の狙いは、金融・情報通信・航空路線・規制撤廃など日本市場の開放とアジア市場のブンドリです。言うまでもなく日本にとってアジアは米以上に生命線です。

数十年間にわたる工業化が破綻したアジア経済。日・欧・米とアジア市場という拡大しているものの奪合から、かつての中国をめぐる日米の争いみたく、今後縮小していく市場の再分割・本格的な奪合に突入しています。

そのためにアメリカは朝鮮侵略戦争を考えたのです。核はほとんど口実で、大学なども含めて数年間研究し、日本をやっつけるために、北朝鮮を睨み、中国を睨みながら一番いいやり方で日本を叩きつぶすというものです（米の経済安保戦略）。

日本も軍事力なしにはアジアを勢力圏にはできない、そのための第一の飛躍として、戦争国家になり朝鮮侵略戦争に参戦することを国家戦略としたのです。新安保ガイドライン・有事法制と沖縄基地強化がそれです。

帝国主義に対する労働者の立場とは、独占は社会主義への過渡であり帝国主義は「死滅しつつある資本主義」であることをはっきりさせることです。そして、帝国主義各国が国外に市場・資源・勢力圏を求めて激しくぶつかり合う戦争の時代の到来に「労働者階級に国籍はない」「労働者は世界的に一つ」「万国のプロレタリア団結せよ」プロレタリア国際主義を復権させ、恐慌・大失業と戦争の時代の到来に共通に敵である、帝国主義の打倒へ日本の労働者が先頭に立つことです。